

スカパーJSATグループ
2007年度決算概況と今後の事業展開

2008年 5月14日

スカパーJSAT株式会社

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

<グループ共通のリスク>

- ・当社グループのサービスに対する需要の低下のリスク
- ・当社グループの事業内容および事業に係わる法的規制等が、将来において改正または新たに制定された場合に当社グループの事業が制約を受けるリスク
- ・新規事業が予定どおりに展開できないまたは業績に貢献しないリスク
- ・当社グループの主要顧客の利用水準の低下または業績変動に伴うリスク
- ・通信技術のデジタル化に伴う画像や音声対応の圧縮技術の高度化、その他の通信、放送、衛星等に関わる技術革新の進展に伴う業績変動リスク
- ・今後、関連分野における戦略的提携もしくは他社との共同関係の構築が想定通りに展開できないまたは、実現できないリスク
- ・為替変動および金利変動等の経済的状況の変化に係るリスク及びそれらが当社グループの資金調達に影響するリスク

<主として衛星運営事業に関係するリスク>

- ・通信衛星が故障、機能低下または稼働停止するリスク
- ・衛星の打ち上げ失敗もしくは遅延または正確な軌道投入失敗のリスク
- ・予備衛星の効果的なバックアップ体制が構築できないリスク
- ・衛星の軌道位置および使用する周波数等に係る国際間調整が遅延した場合または不調に終わった場合に当社グループの事業を予定どおりに展開できないリスク
- ・将来の通信衛星の調達に係るコストが、衛星の仕様、為替レート、保険マーケットの状況等により予定した支出額を超過する可能性があること
- ・経済的に見合うまたは付保が必要な事故を全て対象とする保険を得られないリスク
- ・国際的な事業提携が実現しないまたは予定どおりの成果を生まないリスク
- ・重要な子会社・関連会社の事業に関し、米国にて展開する事業が米国市場における受注が想定通りに得られないこと等によって当社の想定どおりの結果を産み出さない可能性があること
- ・日本国内および欧米ならびにアジア地域における競争激化が財政状態および業績に影響を及ぼすリスク

<主として放送関連事業に関係するリスク>

- ・同社の事業領域をとりまく経済情勢、特に消費動向に関連するリスク
- ・放送法、通信法等の法制度における変化。特に当社の業務に対する規制または規制の提案が行われた場合や、競合する事業者が新規に事業参入した場合のリスク
- ・デジタル技術分野で顕著な急速な技術革新、また放送ビジネスで顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好等を背景とする激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる番組やサービスを当社が開発し継続的に提供していく能力に関するリスク

2007年度の主なトピックス

<業績／財務>

- 2007年度決算は、累計加入増加等により増収増益達成
- 増配(予定)と自己株式消却実施
- 2008年度見通しは、宇宙通信子会社化と
累計個人契約件数増加で増収増益へ

<宇宙通信(株)株式取得と今後の衛星運営事業の展開>

- 宇宙通信子会社化とシナジー効果
- 国際通信分野の拡大

<今後の放送関連事業の展開>

- e2 by スカパー ! は大幅加入増見通し
 - スカパー ! は2009年秋に合計62chのHD化予定
- 中期経営計画見直しとグループ再編にも着手

2007年度グループ決算概況

2007年度 連結損益概要



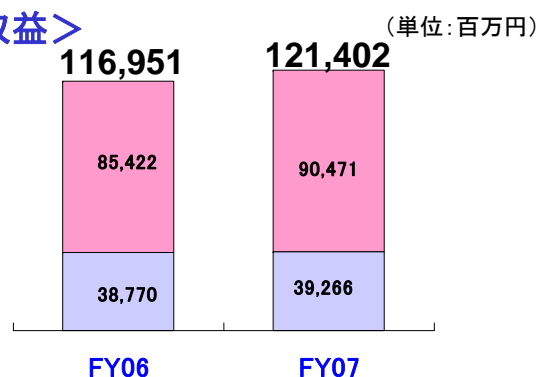
(単位:百万円)

	スカパー JSAT	JSAT (連結)	スカイパー フェクTV (連結)	FY07 グループ 連結	(参考)FY06 みなしグループ 連結*1
営業収益	8,070	39,266	90,471	121,402	116,910
営業利益	6,616	9,126	2,487	11,255	12,519
経常利益	6,537	9,288	2,571	10,778	12,916
当期純利益	6,416	6,174	4,019	9,107	4,135
1株当たり当期純利益(円)	1,736.13	—	—	2,662.00	1,209.20
1株当たり配当(円)*2	1,500.00	—	—	1,500.00	—
1株当たり純資産(円)	53,116.87	—	—	50,301.34	—
EBITDA	—	—	—	24,848	—

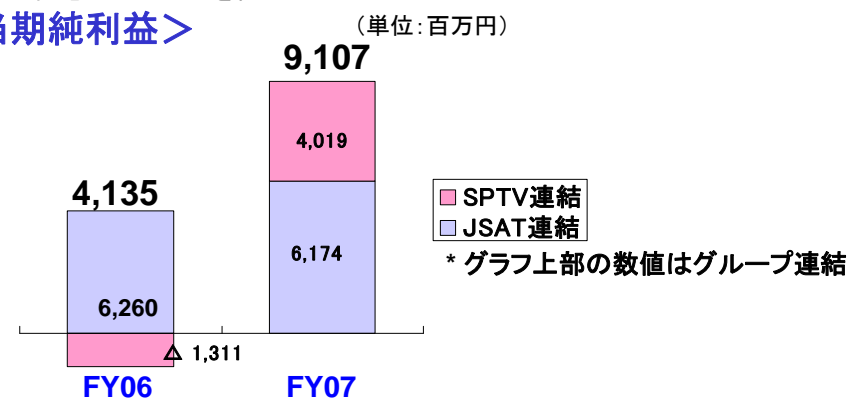
*1 2006年度の数值は比較用の試算ベースで、監査を経ていません。

*2 記念配当300円を含む

<営業収益>



<当期純利益>



2007年度 サービス別連結営業収益内訳



(単位:百万円)

	2006年度	構成比	2007年度	構成比
衛星放送* ²	92,296	79.0%	93,650	77.1%
衛星通信* ³	16,813	14.4%	17,183	14.2%
有線放送* ⁴	4,437	3.8%	7,151	5.9%
その他* ⁵	3,362	2.9%	3,416	2.8%
営業収益合計	116,910	100.0%	121,402	100.0%

- * 1 当社グループのセグメントは、現状、「放送関連事業」と「衛星運営事業」であり、本表は、理解の促進のため、比較用の試算ベースで、サービス別の営業収益の分類を行ったものです。
- * 2 「衛星放送」には、JSATの放送関連営業収益、スカイパーフェクトTVの衛星放送関連営業収益(自主コンテンツ収入を含む)、データネットワークセンター・スカパーマーケティング・PPVJ・サムライTV・eTEN・マルチチャンネルエンターテインメントの営業収益を含みます。
- * 3 「衛星通信」には、JSATの通信関連営業収益及び衛星ネットワーク・JSAT Int'lの営業収益を含みます。
- * 4 「有線放送」には、スカイパーフェクトTVの有線放送関連収入およびオプティキャスト・ケーブルテレビ足立の営業収益を含みます。
- * 5 「その他」のうち主なものは、スカイパーフェクトTVの広告収入、JSATの管制受託関連営業収益及びスカパーウェルシンク・スカパーモバイルの営業収益等です。

2007年度 主要子会社別業績概要



(単位:百万円)

名称	JSAT	スカパー フェクトTV	JSAT Int'l	衛星 ネットワーク	DNCC	PPVJ	オプティ キャスト	ケーブル テレビ 足立 (CTA)	スカパー・ ウェルシンク	スカパー JSAT	グループ 連結	SCC
事業 内容	衛星 通信	放送プラット フォーム	衛星 通信 回線の 販売	衛星 通信 回線の 再販等	顧客 管理	放送	光ファイバ利 用した映像 配信	ケーブル テレビ	コンテンツ 開発・投 資	持株 会社		衛星 通信
保有 割合 (%)	100.0	100.0	100.0	92.0	51.0	100.0	100.0	77.3	100.0	—	—	97.0
営業 収益	34,516	77,109	1,867	4,616	17,338	12,099	4,421	3,468	757	8,070	121,402	17,288
営業 利益	7,843	6,606	990	283	509	19	△4,791	576	△289	6,616	11,255	3,248
経常 利益	8,013	7,654	941	286	513	20	△4,870	585	△530	6,537	10,778	2,914
当期 純利益	5,169	△2,563	596	173	307	30	△2,791	341	△445	6,416	9,107	2,683

*1 上記以外の連結対象子会社は、サムライティービー、スカパー・モバイル、マルチチャンネルエンターテイメント、eTEN、及びオプティキャストの子会社であるオプティキャスト・マーケティングとインフォメーションネットワーク郡山です。(連結子会社計16社)。

*2 持分法適用会社は、システム・クリエイト、ジェイ・スポーツ・ブロードキャスティング、日活他、計5社です。(ただしコンテンツ制作委員会を除く)。

2007年度 連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

	JSAT (連結)	スカイパーフェクTV (連結)	宇宙通信	スカパーJSAT (連結)
流動資産	38,821	73,761	9,498	83,994
固定資産	126,075	53,144	52,141	239,929
資産合計	164,896	126,905	61,639	323,923
流動負債	20,265	31,865	9,172	56,962
固定負債	62,269	2,861	24,232	88,750
負債合計	82,534	34,726	33,404	145,713
資本金	53,769	50,083	20,000	10,000
資本剰余金	21,278	41,626	144	177,287
利益剰余金	13,560	119	8,631	8,236
自己株式	-	-	-	△19,165
株主資本合計	88,608	91,830	28,776	176,358
評価・換算差額等	△6,455	△4,878	540	△4,265
新株予約権			-	65
少数株主持分	209	5,227	-	6,051
純資産合計	82,362	92,178	28,235	178,210
負債純資産合計	164,896	126,905	61,639	323,923

2007年度 連結キャッシュ・フロー概要



(単位:百万円)

スカパーJSAT(連結)	2007年度 (①)	(参考) SCC (②)	(参考) 単純合算 (①+②)
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,362	7,805	56,167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,080	△4,698	△55,778
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,159	461	3,620
換算差額	△24	△7	△31
現金及び現金同等物の増加額	416	3,567	416
現金及び現金同等物の期首残高	44,583	3,211	44,583
現金及び現金同等物の期末残高(A)	44,999	6,779	44,999
運用目的投資有価証券の期末残高(B)	22,072	93	22,075
総資金期末残高(C=A+B)	67,072	6,873	67,072

借入金期末残高(D)	96,843	29,673	96,843
ネット借入金(D-C)	29,770	22,800	29,770

2007年度 その他決算関連事項

<設備投資と減価償却>

(単位:百万円)

	2007年度	
	設備投資	減価償却費
グループ連結	36,193	16,126

* 2007年度設備投資内訳

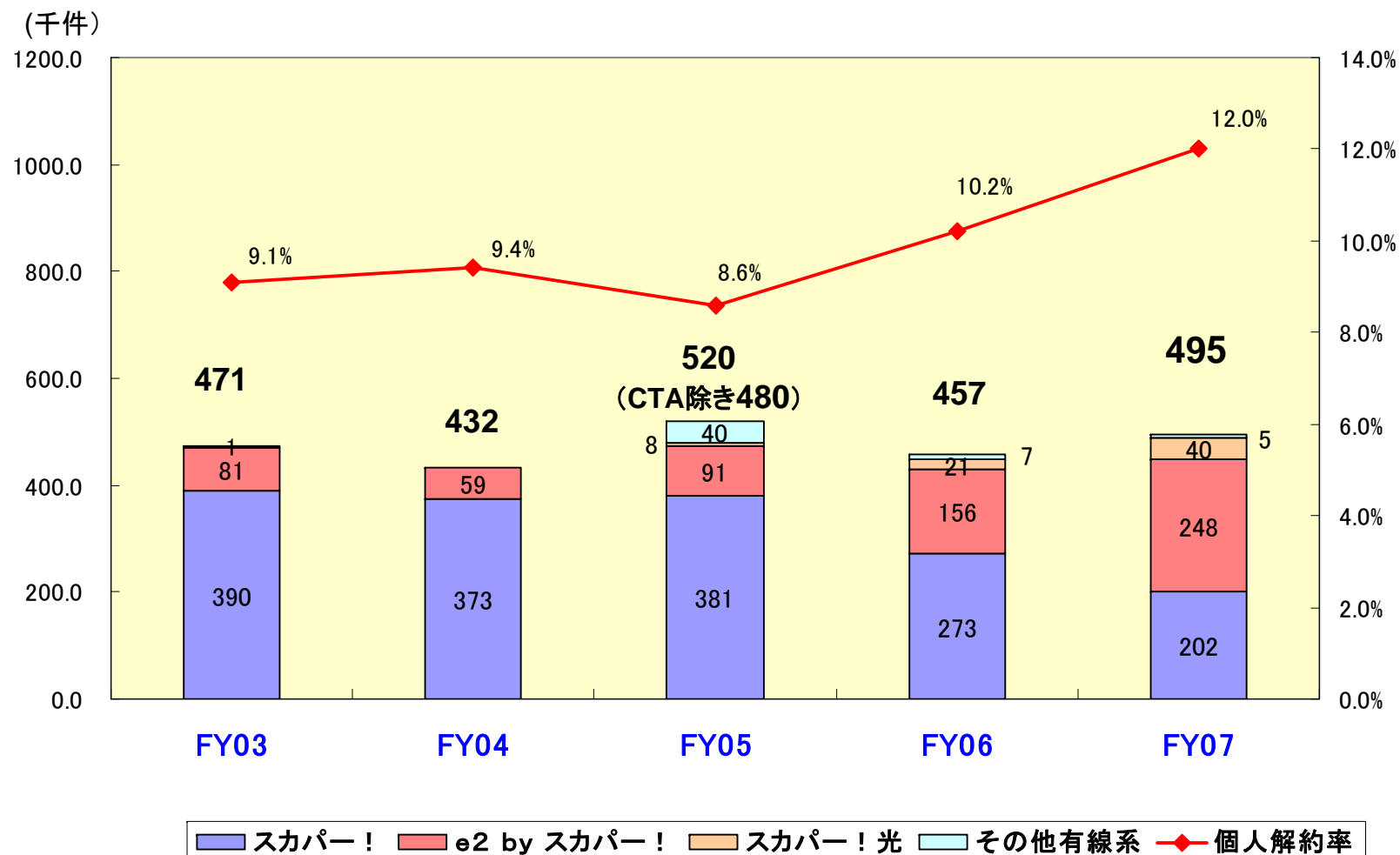
主な設備投資: 衛星調達関連(約256億円)、放送設備関連(約92億円)

<統合によるのれん>

(単位:百万円)

統合形態	時期	のれん額	償却年数	年間償却費
株式移転	2007/4	12,166	15年	811
宇宙通信子会社化	2008/3	1,005	15年	67
合計		13,171	-	878

新規個人契約件数と個人解約率の推移



ARPU(スカパー！+e2 by スカパー！)

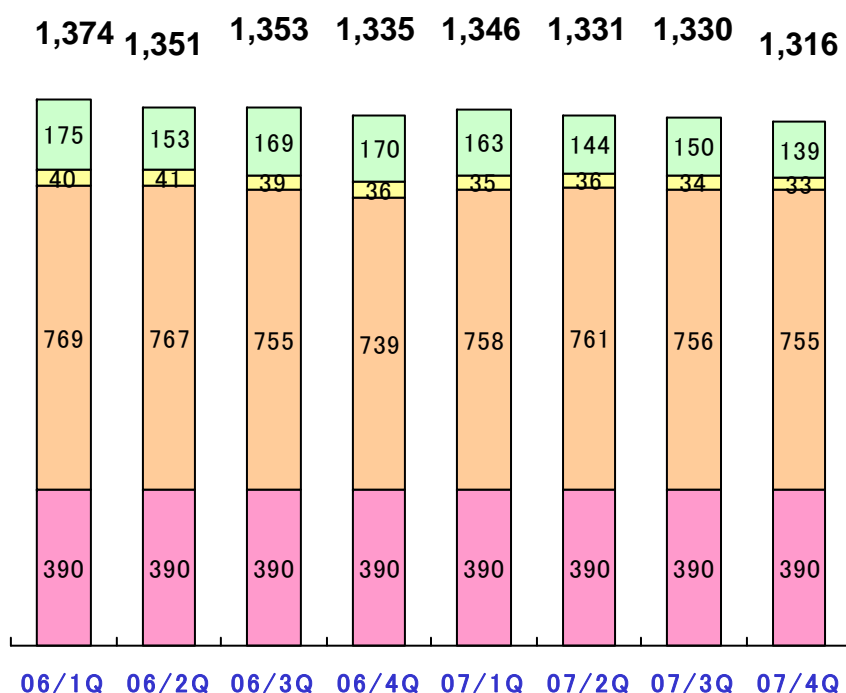
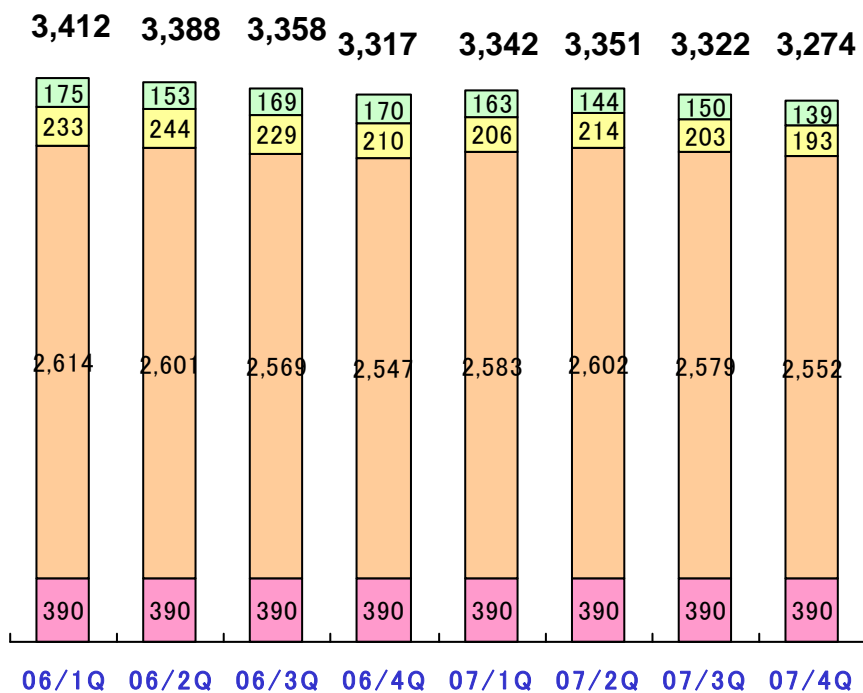


(単位:円)

(単位:円)

視聴料ベース

業務手数料ベース



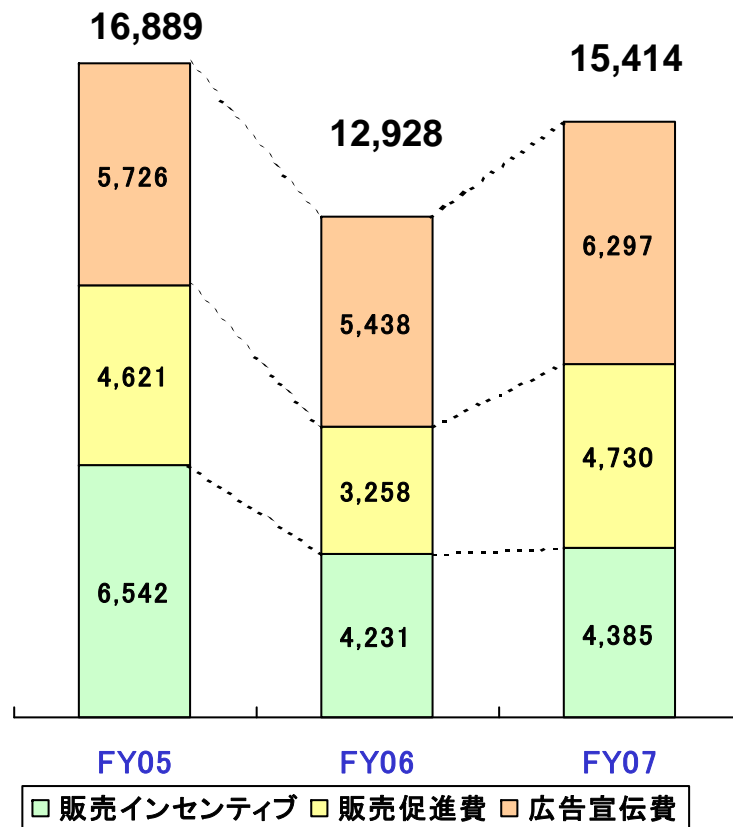
■ 基本料/件 ■ フラット委託視聴料/件
■ PPV委託視聴料/件 ■ 自主コンテンツ収入/件

■ 基本料/件 ■ フラット委託業務手数料/件
■ PPV委託業務手数料/件 ■ 自主コンテンツ収入/件

SAC (スカパー！+e2 by スカパー！)

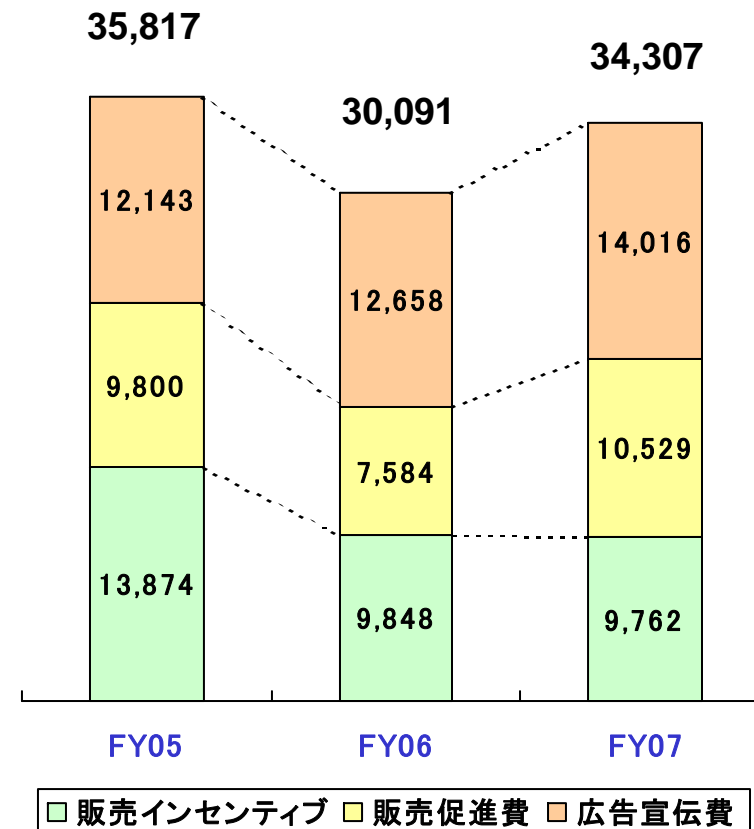
SAC総額

(単位:百万円)



SAC単価

(単位:円)



- *1 スカパー！単体にスカパー・マーケティング分を加えています。
- *2 広告宣伝費は、企業広報費を除いています。

今後のグループ事業展開

2008年度 連結業績見通し

(単位:百万円)

スカパーJSAT (連結)	2007年度実績		2008年度見通し	
	中間期	通期	中間期	通期
営業収益	60,128	121,402	70,000	148,000
営業利益	6,854	11,255	6,700	14,500
経常利益	6,629	10,778	6,000	13,000
当期純利益	8,201	9,107	4,600	9,400
1株当たり配当(円)	500	1,500	600	1,200

<参考: スカイパーフェクトTV加入・解約見通し>

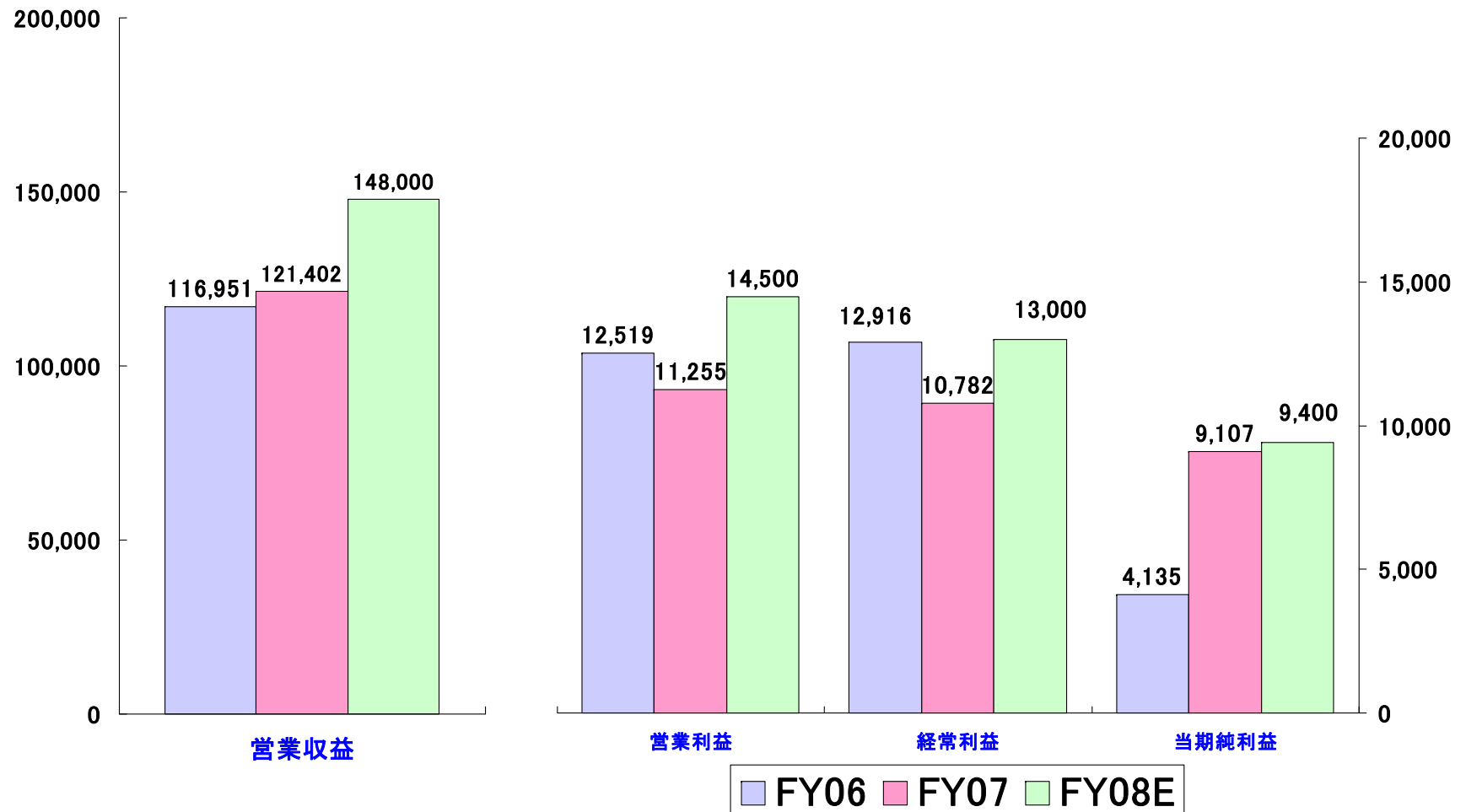
	2007年度実績	2008年度見通し
新規個人契約件数(千件)	495	560
年間個人解約率(%)	12.0%	12.0%
個人契約純増数(千件)	55	111
個人契約件数累計(千件)	3,683	3,794

内訳

	17万件
	33万件
	有線系全体 6万件

グループ連結業績推移

(単位:百万円)



* FY06はみなし連結の数値

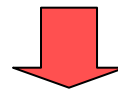
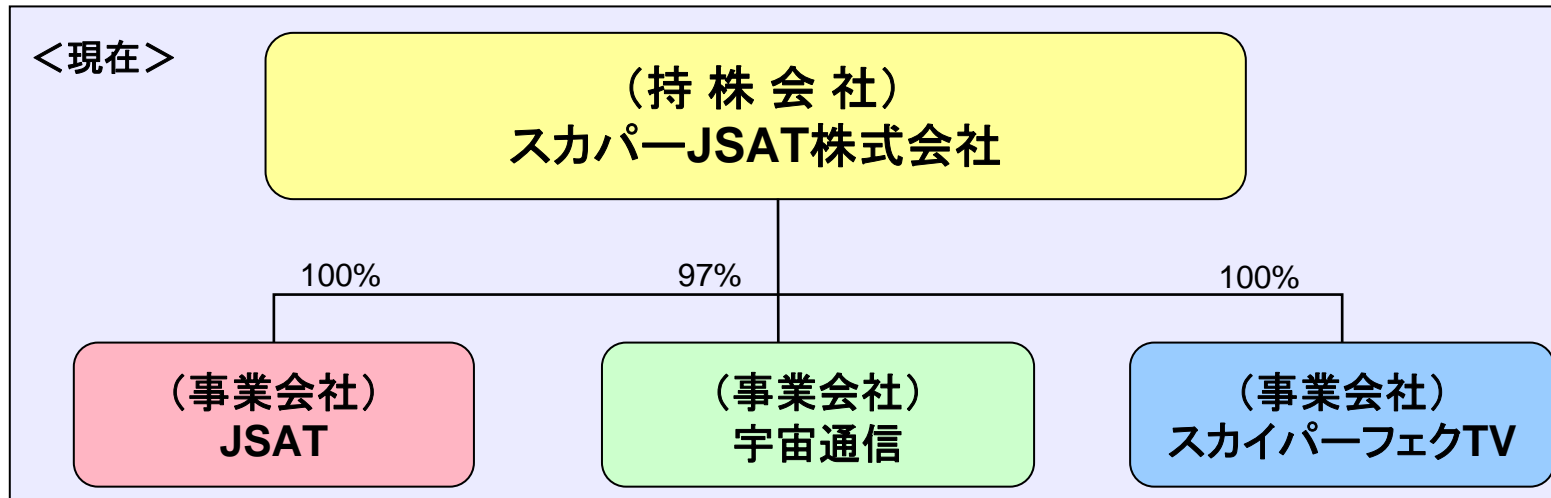
中期経営計画の見直し

07年3月発表の中期経営計画からの前提の変化

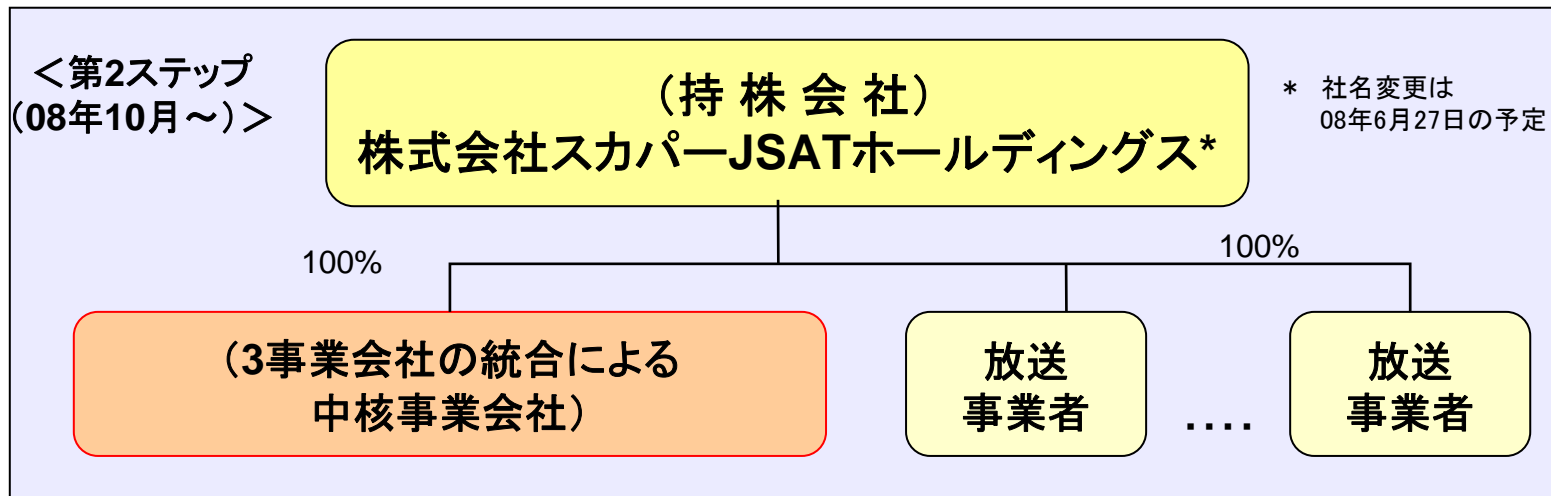
- 宇宙通信の統合
- オプティキャストの事業計画の変更
- 計画加入件数と実績の推移
- スーパー！HD化計画の進捗
- 携帯・IPの環境の変化

→ 中期経営計画を見直し予定
グループ企業も再編へ

グループ再編の見通し



(メリット) 一体経営の推進／意思決定迅速化／
効率化／人的資源再配分 等



スカパーJSATグループ新経営陣

＜持株会社 スカパーJSAT(株)＞

役職	氏名	備考
代表取締役社長	秋山 政徳	現 代表取締役会長
取締役	仁藤 雅夫	現 代表取締役社長
取締役	永井 裕	現 JSAT(株) 取締役 現 宇宙通信(株) 代表取締役社長
取締役	飯塚 洋一	現 JSAT(株) 取締役執行役員専務 現 宇宙通信(株) 取締役

- * 上記は常勤取締役であり、非常勤取締役は7名、監査役は4名
- * 取締役 平林良司は、(株)スカイパーフェクト・コミュニケーションズ 執行役員常務 に
取締役 住友裕郎は、JSAT(株) 執行役員常務 に

＜主要事業会社 代表取締役＞

会社名	役職	氏名
JSAT(株)	代表取締役 執行役員社長	秋山 政徳
(株)スカイパーフェクト・コミュニケーションズ	代表取締役 執行役員会長 代表取締役 執行役員社長	篠木 廣幸 仁藤 雅夫
宇宙通信(株)	代表取締役社長	永井 裕

- * 上記は全て内定であり、2008年6月27日に予定されている株主総会及びそれに続く取締役会の決議を経て正式決定の予定です。

衛星運宮事業

宇宙通信子会社化によるシナジー効果

1. 衛星事業基盤の更なる強化と競争力強化

- アジア地域No.1の衛星事業者、世界でTOP5の規模を誇る
→ 欧米の上位衛星事業者との共同ビジネスを創出
- 日本で唯一衛星通信事業を提供する会社へ
→ 長期・安定的な衛星通信の顧客基盤がより強固に

2. 水平統合による効率化とサービスの向上

- 短期(2008年度～) → 運営費用・販管費の効率化
- 中期(～2010年度) → 衛星管制集約・効率化／サービス(設備・運用)集約・効率化
- 長期(2011年度～) → 最適な衛星フリートの構築

3. キャッシュ・フロー創出力の強化

- 有料多チャンネル放送事業領域への積極的投資
→ 新規加入者獲得
→ HD化投資&プロモーション

今後の衛星打ち上げ計画について

2011年末までに、4機の衛星を打ち上げる予定

■ 2008年

- ・ Superbird-7 (C2)

現在、宇宙通信が保有する「Superbird-C」の後継機

■ 2009年

- ・ Intelsat-15

インテルサット社が打ち上げる衛星の区分所有

- ・ JCSAT-12

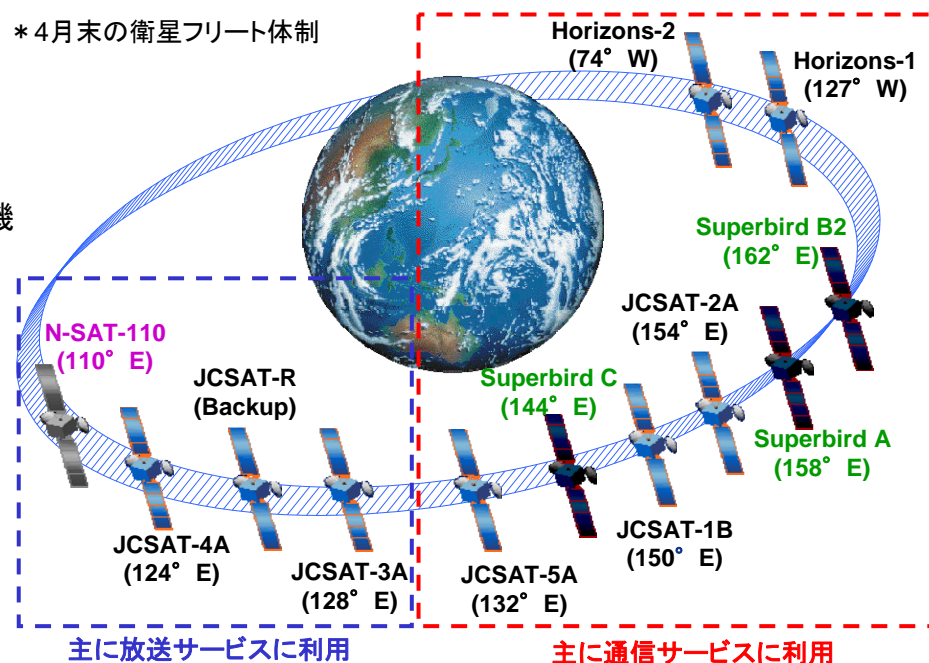
現在、JSATが保有する「JCSAT-R」の後継機

■ 2011年

- ・ JCSAT-110R (BS/CSハイブリッド衛星)

(株)放送衛星システムとの共同衛星。

現在、JSATと宇宙通信が共同保有する「N-SAT-110」の予備衛星機能を搭載。



Superbird-7 (C2) 打ち上げについて

- 現在、運用中のC号機からの継続性、高性能化、サービス拡充を考慮した設計
- 民間初の国産衛星（三菱電機株式会社製）

打ち上げ概要

打ち上げ日：2008年夏（予定）

衛星バス：DS2000

（三菱電機株式会社製）

打ち上げロケット：アリアン5

（アリアンスペース社製）

軌道位置：東経144度

カバーエリア：日本を含むアジア・
太平洋地域のほぼ全域



衛星優位領域への注力： Portalinkサービス（映像伝送）

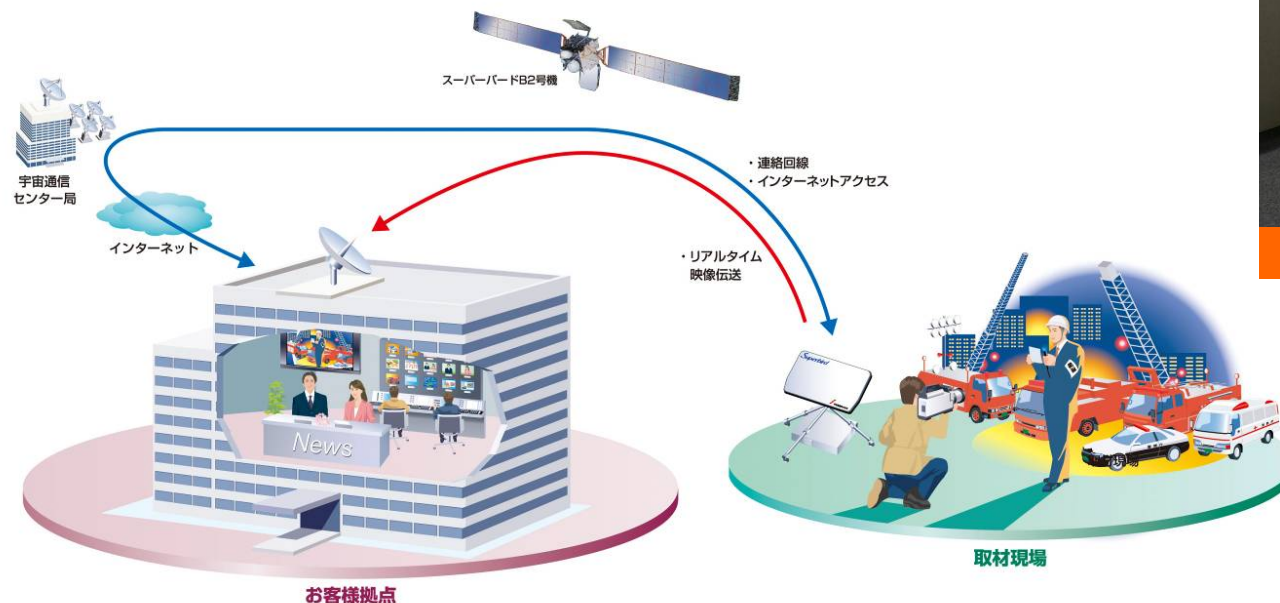
ハイビジョン映像伝送に優れた、送受信端末を開発

Portalink（ポータルリンク）サービスの特徴

可搬性を追求：超小型化軽量端末（20kg未満）

設置が簡単（組み立てから、衛星捕捉まで、約5分）

ハイビジョン映像伝送も可能（最大6Mbps）

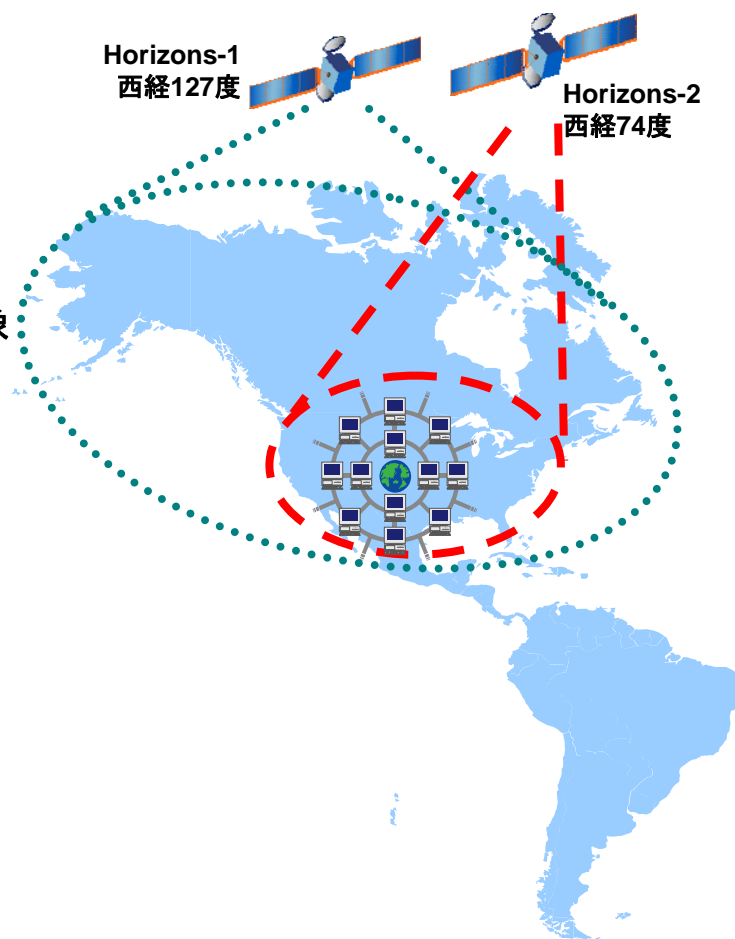


衛星優位領域への注力:グローバル

Horizons-2サービス開始による北米市場の拡大

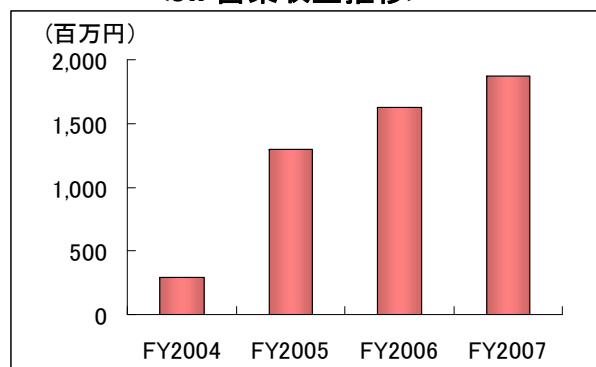
■ JSAT International Inc.(JII)の状況

- ✈ Horizons-1
 - ・主に企業向けVSAT *利用が中心。最近は商用航空機向けデータ通信の需要を取り込む
- ✈ Horizons-2
 - ・高出力衛星として北米の企業向けデータ通信、HD映像伝送の需要拡大に対応



市場の動向 ~ 北米のKuバンドの需要堅調 ~

<JII 営業収益推移>



*. VSAT (Very Small Aperture Terminal)
双方向の衛星通信用送受信設備

放送関連事業

(単位:千件)

■ デジタルテレビにチューナー内蔵

年末商戦後、今夏の北京五輪に向けて、更に普及に追い風

■ 広告宣伝の強化、16日間無料体験、アンテナサポートキャンペーン施策の継続実施

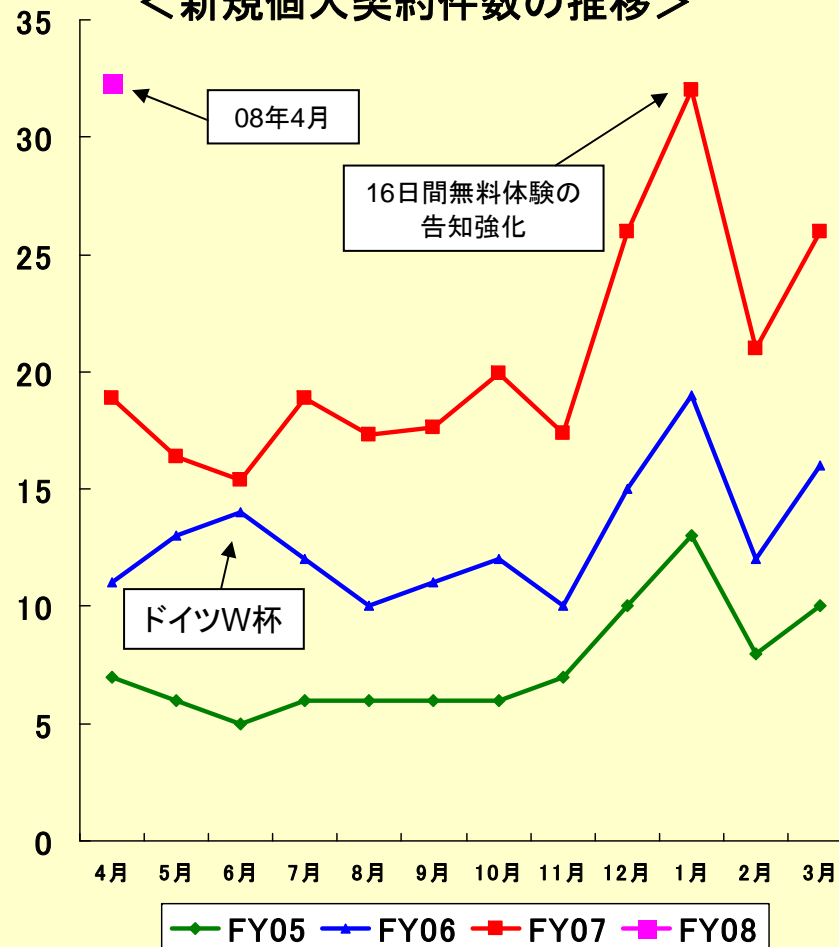
■ 『アクトビラ』に対応した「e2 by スカパー！」公式サイトを3月に開設

■ 「スカパー！スポーツスペシャル第37回 車椅子バスケットボール日本選手権」の準決勝・決勝試合をハイビジョン放送

■ HDチャンネル

08年4月に「フジテレビCSHD」開局、更に2チャンネル(「ムービープラス」・「LALA TV」)をHD化。合計7チャンネルに。

<新規個人契約件数の推移>



スカパー / HDサービス/ スケジュール



提供予定チャンネル数が合計62chに拡大

① 第1期HDチャンネル(08年10月1日開始予定)

チャンネル数: 12ch

PPV3ch+プレミアム4ch+ベーシック5ch

(映画・スポーツ・ドラマ等)



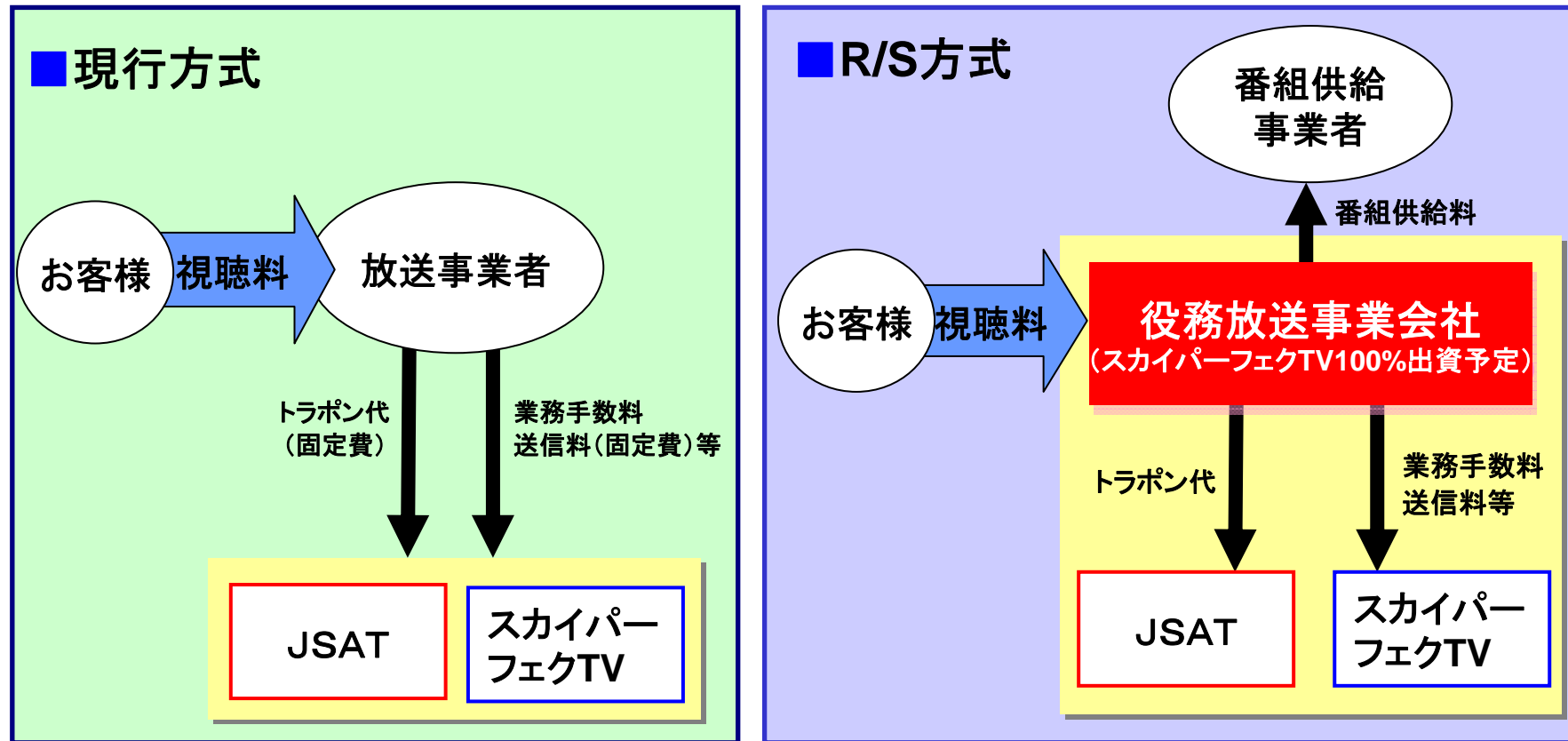
② 第2期HDチャンネル(09年秋メド)

チャンネル数: 50ch (40chに更に10ch追加)

PPV8ch+プレミアム9ch+ベーシック35ch

(映画・スポーツ・音楽・アニメ・ドラマ・ドキュメンタリー・趣味等)

スカパー！HDサービス/ ビジネススキーム



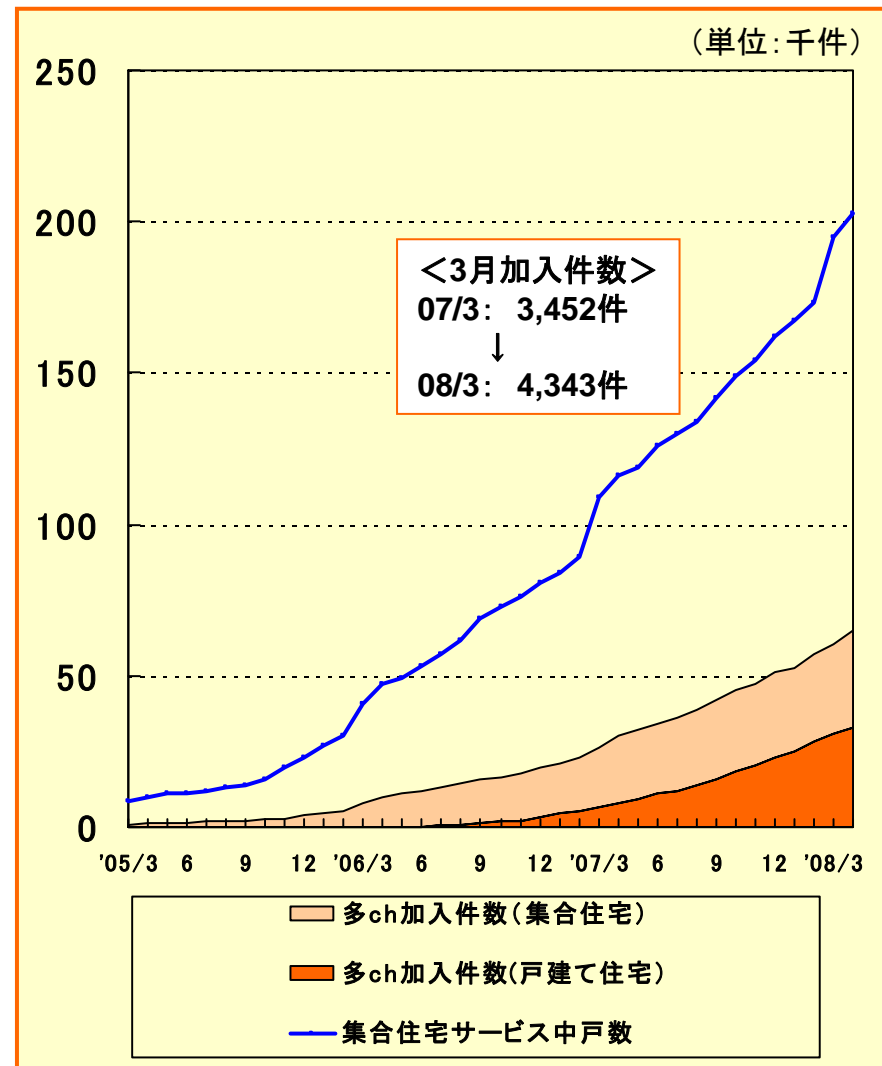
→ スカパー！HDでは、レベニューシェア(R/S)モデルを想定

- ・ 放送事業者のトラポン代負担を軽減
- ・ 視聴料ベースで営業収益を計上

スカパー！光



- 2008年4月末
個人契約件数累計67千件
- NTTによる積極的なTVCM等の広告宣伝推進や各支店とタイアップしたDM・折り込み広告投下等による販促。
- 拡大エリア中心に戸建ての加入増加
- 08年3月末にオプティキャストグループの増資を実施 & 事業計画を修正
- 08年4月～NTT西日本 名古屋地区でサービスエリア拡大
- 08年5月～NTT西日本 兵庫地区でサービスエリア拡大
- ★ NGNでのNTTグループとの提携も別途検討中。



スカパー！ケータイてれび ～パーソナルなスカパー！の実現へ～



NTTドコモ携帯電話向け有料コンテンツ配信サービス
「スカパー！ケータイてれび」を4月21日より開始

放送チャンネル(サイマル)

- ①Jリーグ(LIVE): 無料(6月に有料化)
- ②ナショナル・ジオグラフィック チャンネル: 525円/月
- ③Baby TV: 525円/月
- ④パチ・スロサイトセブン: 1,050円/月
- ⑤ダイワ・証券情報TV: 250円/月
計5ch(4/21現在)

■VODサービス

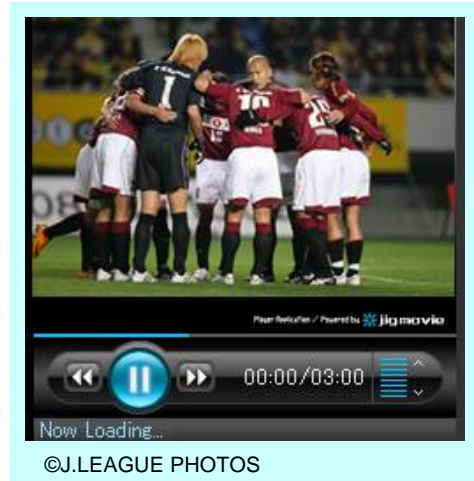
サッカー(チャンピオンズリーグ)やグラビア、
エンタメ系のコンテンツを約150本用意。
チャンピオンズリーグは、過去の名試合のハイライトやゴール集等

■今後の予定

放送チャンネル・VODは、順次拡充予定。
VODコンテンツは50本/月程度アップ予定



「スカパー！ケータイてれび」
TOP画面イメージ



＜本資料についてのお問い合わせ先＞
スカパーJSAT株式会社 広報IR部

(注)本説明資料の全部もしくは一部を無断で複製・転載することをご遠慮下さい。